

令和5年第2回定例会

一般質問通告書

流山市議会

令和5年第2回定例会一般質問通告順

日付	順番	議員名	会派名	頁	提出時間
6 月 27 日	1	青野直	流政会	1~2	27日 8時30分
	2	渡辺仁二	流政会	3~4	27日 8時30分
	3	野村誠	公明党	5	27日 8時30分
	4	桑畑伴子	公明党	6	27日 8時30分
	5	阿部治正		7~8	27日 8時30分
	6	岡明彦	公明党	9	27日 8時30分
6 月 28 日	7	森田洋一		10~11	27日 8時30分
	8	川本大岳	流政会	12	27日 8時30分
	9	戸辺滋	公明党	13~14	27日 8時30分
	10	矢口輝美	流政会	15~16	27日 8時30分
	11	鈴木ゆうすけ	流政会	17	27日 8時45分
6 月 29 日	12	小沢えみり	流政会	18~19	27日 9時41分
	13	おだぎりたかし	日本共産党	20~21	27日 13時03分
	14	高橋あきら	日本共産党	22	27日 13時03分
	15	植田和子	日本共産党	23	27日 13時04分
	16	乾えり	日本共産党	24~25	27日 13時04分
6 月 30 日	17	西尾段	流山みらい	26	27日 14時01分
	18	清水大	流山みらい	27~28	27日 14時02分
	19	藤井俊行	流山みらい	29~30	27日 14時40分
	20	うた桜子	流山みらい	31~32	27日 14時58分
	21	楠山栄子	流山みらい	33	27日 16時59分

質問事項	要 旨
1 市政の経営方針について	<p>(1) 先の統一地方選挙で井崎市長は、3つの経営方針をかかげて市民の多くの信任を得た。「住み続ける価値の高いまち」、「市民の知恵と力が活きるまち」、「市民に役に立つ市役所」についての市長の市政経営に取り組む基本的な考え方を問う。</p>
2 2023年流山市学校教育指導の指針と生涯学習への取り組み姿勢について	<p>(1) 「学びに向かう力、共感する力を養い、自立(自律)する子どもを育む」施策についての確かな学力、豊かな心、健やかな体、つながりのある教育の基本方針について問う。</p> <p>(2) 生涯学習では、「豊かな人生と文化芸術を創造するまちづくり」をかかげて、令和5年度一般会計予算の社会教育費・保健体育費に各事業費が計上されている。本年度の重点施策とその取り組みについて問う。</p>
3 高齢者支援計画の施策について	<p>(1) 高齢者支援計画に位置付けされている地域支え合い活動推進事業と次期計画への取り組みについて以下4点を問う。</p> <p>ア 「流山市地域支え合い活動推進条例」は制定施行後9年目を迎えた。地域支え合い活動の現状と課題をどのように捉えているか。</p> <p>イ 高齢者の認知症による徘徊への施策として、「認知症高齢者等見守りシール」の配布を令和4年度から実施している。事業の現状と課題をどのように把握されているのか。また、今後の方針を問う。</p> <p>ウ 高齢者の外出支援の施策として、バリアフリーのまちづくり・福祉有償運送・高齢者等市内移動支援バス・流山ぐりーんバス高齢者割引制度がある。事業の現状と課題をどのように把握されているのか。課題に対する今後の対策を問う。</p>

<p>4 流山本町のまちづくりについて</p>	<p>エ 上記3点について、流山市高齢者支援計画「令和6年度から令和8年度」への位置づけについて問う。</p> <p>(1) 創立150周年を迎えた流山小学校の児童数の想定値と今後の学校施設整備について問う。</p> <p>(2) 流山本町には、江戸・明治からの文化的遺産が数多く残されている。文化的価値の高い下記史跡の案内看板の設置と学術調査について問う。</p> <p>ア 5代目秋元三左衛門の墓</p> <p>イ 秋元洒汀の墓</p> <p>ウ 浅間神社境内の力石群9基</p> <p>エ 木ノ村亀吉の「力石墓石」</p> <p>オ 義賊金子市之丞と三千歳の墓</p> <p>カ 赤城神社拝殿「南側板戸絵」色彩復元の学術調査</p> <p>(3) 地元自治会から流山警察署長へ要望された流山本町の安全・安心のさらなる充実策に係る流山市長に対する副申書の対応について問う。</p>
-------------------------	--

質問事項	要 旨
<p>1 選挙違反防止のための方策について</p>	<p>(1) 選挙は民主主義の基盤であり、市民の意思を反映する手段である。違反行為があると、選挙結果が公正でなくなり、市民の信頼性が低下するため、違反行為を防ぐことは重要である。選挙において違反行為があった場合について以下2点を問う。</p> <p>ア インターネットやメールを使った選挙運動に違反があった場合には、どのような対応を行うのか。</p> <p>イ 投票所又は開票所などでは、有権者が投票するのに指示や勧誘を行って投票に干渉したり、また、投票内容を知ろうとすることなども処罰される。投票した候補者名の写真を撮影し、SNSに発信したものがいたが、どのような対応を行ったのか。</p>
<p>2 価値が落ちない流山市の住宅政策について</p>	<p>(1) 住宅都市として発展してきた本市は、高度経済成長期には住宅開発が盛んに行われてきた。流山おおたかの森駅周辺のみならず、価値が落ちない流山市を目指していくために、既存住宅の改修費用に関する補助制度を更に充実したものにすべきと考え、以下2点を問う。</p> <p>ア 流山市の木造住宅耐震改修助成事業について、現在助成対象が昭和56年5月31日以前に建築された住宅とされているが、近隣の柏市、松戸市と同様、平成12年5月31日より前に着工した住宅へ拡大すべきと考えるがどうか。</p> <p>イ 令和4年第1回定例会の市政に関する一般質問でも提案があったように、断熱性能を高めることでヒートショックを防ぎ、快適に生活できる住まいのニーズが高まっている。鳥取県や山形県で実施している健康省エネ住宅制度を参考にして、本市でも性能基準を定め、それに達する住宅にするための改修費用を補助すべきと考えるがどうか。</p>

<p>3 流山本町地域の今後について</p>	<p>(1) 令和4年第3回定例会の市政に関する一般質問では、地権者の方々と市が連携し、取り組んでいくことが重要であり、全国各地の様々な事例を参考に、流山本町にふさわしい取組の検討をスタートさせていく、そのために、良好な事例の視察にいくこと、都市計画のような制度にするのかを検討する、地元の声を聴く場は当然必要という答弁があった。その後の進捗について問う。</p> <p>(2) 令和4年第4回定例会の市政に関する一般質問では、議員として自ら調査し、3つの本町のまちづくりビジョンを提案した。これについて以下2点を問う。</p> <p>ア 流山市が注目されている現在、開発圧力が強くなると考える。乱開発防止のためにも、流山本町のまちづくりビジョン、つまり目指すべき将来像を市としてしっかり掲げ、推進していくことが重要と考えるがどうか。</p> <p>イ 市民から頂いた声を元にまとめた本町まちづくりビジョンをどのように活用していくのか。</p> <p>(3) 今年度及び来年度以降に計画されている事業はあるのか。あればどのような事業か。</p>
------------------------	--

質問事項	要 旨
<p>1 地球温暖化防止対策について</p>	<p>(1) 本市においては、令和5年2月に「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」を表明し、脱炭素都市ながれやまを目指して、様々なゼロカーボンシティへの取り組みが推進されている。そこで以下2点について問う。</p> <p>ア 実行計画事務事業編の実施状況について、公共施設において再エネ設備等の導入への取り組み状況はどうか。また、一般公用車での取り組み状況についてもあわせて問う。</p> <p>イ 実行計画区域施策編について、実行計画における目標達成に向けての取り組みの現状はどうなっているのか。また、これから実施を考えている取り組みについて当局の見解を問う。</p>
<p>2 熱中症対策について</p>	<p>(1) 気候変動の影響により、国内の熱中症死亡者数は増加傾向が続いており、近年では、熱中症死亡者数が年間千人を超える年が頻発するなど、自然災害による死亡者数をはるかに上回っている。こうした状況を踏まえ、今後起こり得る極端な高温も見据え、本市においても熱中症の発生の予防を強化するための取り組みを一層強化することが必要と考える。そこで以下2点について問う。</p> <p>ア 熱中症から地域住民の生命を守るための取り組みの推進について、熱中症にかかってしまった時の対処法についての周知も含め、WBGT(暑さ指数)の認知度向上や行動変容に繋がる情報発信の更なる周知も必要と考えるがどうか。</p> <p>イ 高齢者の熱中症を予防していくためには、関係部局が一体となって、対策を的確に進める必要があると考える。高齢者の皆様への効果的な熱中症予防を進めるために、地域や団体に対してどのような取り組みを進めているのか。</p>
<p>3 南部地域の諸課題について</p>	<p>(1) 南流山駅前の活性化・街づくりについて</p> <p>ア 南流山まちづくり再生を進めるための南流山駅周辺の都市計画の見直し及び土地利用の高度化と活性化をどのように行なっていくのか当局の見解を問う。</p> <p>イ 若い世代の交流人口が増加するような施策や、新たな駅前イベントなどの開催を計画するなど、商業の活性化及び賑わいのある街づくりの創出について当局の見解を問う。</p> <p>(2) 南流山中学校移転に伴う通学路の安全対策について、鱈ヶ崎地域の小中学校の通学路についての安全対策を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 本市における不登校児童・生徒への支援強化について</p>	<p>(1) 近年、不登校児童・生徒の増加が全国的な課題となる中、文部科学省は令和5年3月31日に「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」として、COCOLOプランをとりまとめた。本市においても様々な支援を行っているが、今回のCOCOLOプランが取りまとめられたことを受け、以下3点について問う。</p> <p>ア 本市における不登校児童・生徒の現状と課題について</p> <p>イ 不登校に至る経緯は千差万別であり、児童・生徒のみならず、保護者にとっても、心の負担は大きい。そこで、保護者へのサポート体制の強化が必要と考えるがどうか。</p> <p>ウ 中学生時代に不登校となった場合、高校への進学は困難であり、通信制高校などに進学しても、途中で挫折してしまうケースも見受けられる。高校進学へのサポートと共に、進学した高校との連携など、細やかな支援が必要と考えるがどうか。</p>
<p>2 本市の带状疱疹ワクチン接種費用の助成について</p>	<p>(1) 近年、带状疱疹に罹患する方が増加している。特に、高齢者においては、免疫力が低下すると症状の重症化や、様々な後遺症によるQOL（クオリティー・オブ・ライフ）の低下などが見受けられ、带状疱疹ワクチン接種を望む声を多くの市民から伺っている。しかし、带状疱疹ワクチンの接種費用が高額なため、接種に踏み切れないとの声も多い。そこで、より接種しやすい環境を整えるためにも、早急に带状疱疹ワクチンの接種費用を助成すべきと考えるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 生活保護制度について</p>	<p>(1) 国が2013年から2015年にかけて行った生活扶助基準の切り下げに対して、「健康で文化的な生活水準の維持」を定めた生活保護法に反すると訴える裁判が全国で21件起こされており、すでに11の地方裁判所で扶助基準の切り下げは違法であり減額決定を取り消すべきとの判決が下されている。行政訴訟としては異例の高率での原告勝訴、違法・取り消し判決である。千葉県における裁判では流山市も被告となっており、5月26日に千葉地方裁判所で判決が下された。その判決文では、厚生労働大臣の「裁量権の範囲の逸脱又はその濫用がある」「本件各変更決定はいずれも全部違法である」「原告らの請求は、いずれも理由があるからこれを認容する」と、極めて明確な論調で国の決定の違法性が述べられた。そこで以下の諸点を問う。</p> <p>ア いわゆるデフレ調整について、統計などの客観的数値との合理的関連性を欠き、専門的知見との整合性がないとの千葉地方裁判所などの司法判断について、流山市はどのような見解を持っているか。</p> <p>イ 生活扶助基準の引き下げに用いた生活扶助相当消費者物価指数について、テレビなど教養娯楽費の物価の下落が過大評価された可能性は否めないなどとする千葉地方裁判所などの判断について、流山市はどのような見解を持っているか。</p> <p>ウ 厚生労働大臣の判断過程及び手続に瑕疵があり、大臣の裁量権を逸脱、濫用したものだとする千葉地方裁判所などの判断に対して、流山市はどのような見解を持っているか。</p> <p>(2) 被告の流山市として今なすべきことは、まずは生活保護受給者をはじめとする生活困窮者の不安を一日も早く取り除くため、また何よりも生活保護受給者が奪われた権利を早急に回復するために、千葉地方裁判所の下した判決を受け入れ、控訴をしないとの姿勢を明確にすることであると考えるがどうか。</p>

<p>2 マイナンバー制度について</p>	<p>(1) マイナンバー制度とマイナンバーカードの取得勧奨、マイナンバーカードと健康保険証との一体化、金融口座の登録、コンビニでの住民票や印鑑登録証明書の発行等々をめぐって、連日多くのミスや混乱や個人情報の漏洩などが報告されている。本年5月の流山市議会第1回臨時会での質疑に対する答弁では、トラブルの発生の原因は健康保険組合における登録時の人為ミス、コンビニなどでのログアウトの不徹底などにあり、流山市の事務においては問題は生じていないと当局は述べた。しかし、全国的には自治体の事務においても、マイナンバーカードの申請・取得、マイナ保険証の請求などを支援する業務において、登録のミスが多発しており、自治体業務内ではミスは起こらないとは言えない現実が明らかとなっている。流山市は、こうした自治体現場においてもミスの発生要因が存在する事態について、どのように受け止め、どのような対策を行っているか。</p> <p>(2) 自治体現場における業務の過多と過重は歴然とした事実だが、負担の軽減策は部内での応援措置や人材派遣事業者の利用で果たして十分なのかどうか。部内での応援は、部内の他の事務に新たな負担を生じさせてはいないか。</p> <p>(3) 他の自治体では、公金受取口座の誤登録の多発などを受けて、公金受取口座の利用を一時中止する自治体が出て来ているが、流山市も同様の措置をとることが適切と考えるがどうか。</p>
-----------------------	---

質問事項	要 旨
<p>1 本市の福祉施策について</p>	<p>(1) 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が昨年の5月に施行されたことを踏まえ、他の自治体においては、接種券発送の際に音声コード付きの説明書を同封する取り組みや、投票所入場券に音声コードを付与する等の取り組みが行われている。自治体からの各種の通知等に音声コード等を取り入れることは重要であり、誰もが情報を入手しやすくする施策を推進するべきと考える。視覚障害者や高齢者等、誰にでも優しい情報のユニバーサルデザインに向け、また、本市においても「流山市多様性を尊重する社会の推進に関する条例」の施行に伴い、各種通知等に音声コードを積極的に取り入れていくべきと考えるが、当局の見解を問う。</p> <p>(2) 障害者のニーズは固定的なものではなく、一人一人の考え方や価値観、障害の内容や程度、成長の発達等、さらに社会状況の影響を受け、絶えず変化していくものと考えられる。これらを踏まえ、本市においても、支援が必要な人と支援する人を結ぶ媒体として、ヘルプカード及びヘルプマークの普及啓発と併せ、ヘルプシールのような新たなツールの導入も必要と考えるが、当局の見解を問う。</p>
<p>2 本市の保育施設の現状と課題について</p>	<p>(1) 保育施設の増加に伴い、保育ニーズは多様化され課題が増加傾向であると捉える。本市でも保育士確保において、様々な施策を展開し、取り組んでいると認識はしているが、本市の保育施設における現状と課題についてはどのように捉えているか、当局の見解を問う。</p> <p>(2) 保育施設からの請求事務については、毎月、本市と各保育施設との間で情報交換が行われていると仄聞しているが、電子メールでの情報交換のため、セキュリティ面を不安視する声が保育施設側から挙がっている。安全性の確保や行政サービスの効率化を図るべく、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進すべきと考えるが、当局の見解を問う。</p>
<p>3 「GIGAスクール構想」に基づき整備された1人1台端末の利活用について</p>	<p>(1) 「GIGAスクール構想」に基づき、市内小中学校の児童生徒に1人1台の端末が整備され約3年が経過した。令和の教育改革の柱である「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に不可欠なツールであり、不登校や特別支援、病気療養や外国籍等の多様な児童生徒の実情や特性に応じた、誰一人取り残さない学びを保障するうえで不可欠なインフラであると捉える。これらを踏まえ、本市においての1人1台端末の利活用の状況と課題をどのように捉え、今後どのように活用されていくのか、当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 選挙の公営掲示板のあり方について</p>	<p>(1) 「公営掲示板が強い風で傾いてしまった」、「ひとつの公園で複数の投票所の掲示板が設置されていて紛らわしい」など、選挙期間中も候補者の元に苦情や問い合わせがきている。選挙管理委員会は、事前に掲示板の位置等に不具合がないか、現場でのチェックを更に強化する必要があると考えるがどうか。</p>
<p>2 高齢者がワクワク生きることのできる街の実現について</p>	<p>(1) 自宅で人生の最後を迎えたい、しかも、自分の子どもの世代には迷惑をかけたくない、同居は望まないなど、既存の介護保険制度ではカバーできないようなサービスの需要は増加しており、社会構造の変化に制度が追いついていない一面もある。現状よく指摘される介護人材の不足は、そもそも賃金が安いので、なり手がいないという経済の問題である。また、訪問看護ステーションの増加傾向は、マーケティング戦略で、ターゲットの選定や潜在需要の分析があり、その結果ビジネスチャンスがあると事業者が判断したためであると考えられる。更に、デンマークでは、介護保険は、ライフコース全体からの制度設計の必要性が重要視されている。フランスでは、個別化自立手当を核としており、2030年には、カップルで暮らす85歳以上人口が、現在よりも著しく増加すると予想されている。このように、現状の介護保険制度の中で対応できるサービスについては、これまでとは異なる切り口による分析が、今後更に重要になると考えるがどうか。</p> <p>(2) 自転車でのヘルメット着用が努力義務になっている。年金受給者にとっては、高額な負担であるし、購入することにワクワク感がない。企業広告を入れて、無料サンプルを配布するなど、柔軟な発想で課題解決にのぞむべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 加・根郷、西初石、東初石、美原、野々下、松ヶ丘などの地域においては、バスに対する様々な要望がでてきている。高齢者施策の一環として、本市は、バスの利便性向上について、これまで以上に強気で、事業者に交渉すると同時に積極的な提案をすべきと考えるがどうか。</p>

<p>3 観光施策について</p>	<p>(1) ことりっぷ、散歩の達人などの観光冊子に紹介された店舗は、来訪者の増加により、売上が一時的に好調になる。その一方で、継続的な集客やリピーターの確保には、引き続き、地道な努力や経営面での工夫が必要になる。市当局としては、このことをふまえた上で、本町地域全体の活性化を面で捉え、一時的な世間の注目も視野に入れつつも、まだ人々が見向きもしない潜在的な観光資源の掘り起こしや既存の観光資源の磨き上げに更に注力していくべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) インバウンドの需要が戻り、都内ではスペイン語、フランス語を話す外国人観光客をよく見かけるようになった。過去の市政に関する一般質問では、本市のプロモーションのターゲットとして、英語圏、スペイン語圏が重要と、数回指摘している。担当部局は、引き続き情報収集や現状実施しているプロモーションの効果検証と同時に、担当者や職員のスキルアップ、直前のガイド依頼の動向などをこれまで以上に重要視して、集客アップにつなげていくべきと考えるがどうか。</p>
-------------------	--

質問事項	要 旨
<p>1 南流山駅周辺のまちづくりについて</p>	<p>(1) 令和4年第1回定例会において市長から言及のあった南流山駅周辺の都市計画の見直しについて、以下問う。 ア 「都市計画の見直し」とは具体的にどのようなことを想定し、検討しているのか。 イ 都市計画が見直される駅周辺地域とは具体的にどこか。 ウ 土地の高度利用や地下利用については検討しているのか。</p> <p>(2) 広報ながれやま、令和5年度事業特集号に「南流山駅周辺市街地再整備事業」として880万円を予算計上したという記事が掲載された。「住民の意向把握や土地利用、潜在資源の発掘などの現況調査を行います。」とあるが、これについて以下問う。 ア 880万円の調査内容や方法はどのような内容のものか。 イ 調査結果を踏まえ次年度以降はどのように事業化を予定しているのか。</p>
<p>2 南流山駅の諸課題について</p>	<p>(1) 南流山駅前の課題について、以下問う。 ア 南流山駅前ロータリーは北口・南口共に送迎の車の渋滞が激しく、危険な時間帯がある。駅前ロータリーの交通状況をどのように改善していくのか。 イ 南流山駅前周辺はゴミが多いという指摘がある。駅前美化について、どのように取り組む方針か。 ウ 南流山駅に設置されていた喫煙所が令和4年11月30日をもって撤去された。喫煙所撤去前後における路上喫煙の検挙件数はそれぞれ何件か。また、路上喫煙検挙件数における流山市民と流山市民以外の検挙件数は、それぞれ何件か。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 ひきこもりに関する各種支援について</p>	<p>(1) ひきこもり当事者及びその家族への支援については、これまで市政に関する一般質問で取り上げ、相談窓口の更なる周知や各種支援の充実を求めてきたが、改めて以下4点について問う。</p> <p>ア 本年2月、本市独自のひきこもりに関する実態調査が実施されたが、調査方法及び調査結果はどのようなものだったのか。また、調査結果を今後の施策にどのように反映していくのか。</p> <p>イ 令和4年第3回定例会の市政に関する一般質問において、オンラインによる相談窓口の設置及び当事者同士の居場所づくりの実施を求めたが、改めてこれらの取り組みに関する当局の見解を問う。</p> <p>ウ 令和4年第3回定例会の市政に関する一般質問において、生きづらさ包括支援の在り方懇談会及び庁内におけるプロジェクトチームを立ち上げ会議を開催していく旨の答弁があったが、それぞれの協議の概要及び進捗状況について問う。</p> <p>エ これまでもひきこもり支援の更なる充実を求める中で、本市における行政の縦割りをなくした重層的かつ包括的な相談支援体制の早期構築を求めてきたが、新たな支援体制の構築に向けた今後の見通しはどのようなになっているのか。</p>
<p>2 ジェトロ江戸川台職員宿舎跡地の活用について</p>	<p>(1) 江戸川台駅東口周辺地区再整備事業の柱の一つであるジェトロ江戸川台職員宿舎跡地の活用については、令和8年度の供用開始に向け、江戸川台駅前庁舎や北部地域包括支援センターをはじめとする公共公益施設を集約する方針が示されているが、具体的にどのような施設の開設を考えているのか。また、本年4月より、「流山市多様性を尊重する社会の推進に関する条例」が施行されたが、この施設における本条例の基本理念等を具現化するための空間の創出について、当局はどのように考えているのか。</p>

<p>3 自転車に関する各種施策について</p>	<p>(1) 昨年11月24日に議員有志7名により、「流山おおたかの森駅北口周辺の自転車一時利用駐車場の拡充を求める要望書」が井崎市長宛てに提出されたが、同施設の拡充に向けての進捗状況はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 本年4月に道路交通法の一部が改正され、自転車を運転する際のヘルメットの着用が努力義務となったが、これを踏まえ以下3点について問う。</p> <p>ア 本市における自転車事故の件数は、ここ数年どのように推移しているのか。</p> <p>イ 一部自治体で既に実施されている自転車用ヘルメット着用率の実態調査について、現況把握の観点から本市においても速やかに実施すべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ ヘルメット着用の更なる推奨に向け、当局はどのような施策の実施を考えているのか。</p>
<p>4 認知症等により行方不明となる方及びその家族への支援について</p>	<p>(1) 認知症により行方不明となる方及びその家族の支援については、本年1月より、「認知症高齢者等見守り事業」として、行方不明となった際の早期発見のための取り組みや、第三者に損害を与えてしまった場合に備えた補償制度の導入等、各種支援の充実が図られているが、このことを踏まえ以下2点について問う。</p> <p>ア 本事業の申請件数及び問い合わせ件数は、どのように推移しているのか。また、本事業の周知について、流山市SOSネットワーク協力事業者をはじめとする関係機関に対しては、どのように実施されてきたのか。</p> <p>イ 知的障害者の家族からも同様の支援を求める声があるが、本事業の対象拡充に関する当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市におけるインクルーシブ教育の今後について</p>	<p>(1) 国の調査によれば特別な支援を要する児童・生徒が年々増加しており、流山市においても同様な傾向にあるものと想定できる。つまり、特別な支援を要する児童・生徒への支援ニーズは増えている。これに対して、市は、教育研究企画室及び特別支援スーパーバイザーを中核とした支援体制を形成しているが、今後の具体的な支援策について以下を問う。</p> <p>ア 特別な支援を必要とする児童・生徒の増加に対する相談機能の強化策について</p> <p>イ 本来は特別な支援を必要としているが、顕在化していない児童・生徒に対して早期に対応すべきと思うが、その対策について</p> <p>(2) 特別な支援が必要な児童がより適切な支援を受けるためには、継続的な相談を重ねた上で、検査及び判定を受けることが必須である。この検査体制に関する対応策について以下を問う。</p> <p>ア 検査費用の助成を含めた今後の検査体制の拡充について</p> <p>イ 検査未受検のために児童・生徒の困難が明確にならず、適切な支援を受けられないがゆえに、より困難な状況が発生していると思うがどうか。</p> <p>(3) 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」と「流山市教育振興基本計画」での数値目標の設定の必要性及び評価指標について問う。</p> <p>(4) 特別支援等へのDXのあり方について以下を問う。</p> <p>ア 個別の教育支援計画、個別の指導計画での個人情報の管理について</p> <p>イ デジタル化した場合のリスクと対応策について</p>
<p>2 地域における防災力について</p>	<p>(1) 昨今の気候変動に伴う風水害及び地震災害の多発により、流山市における防災体制等の機能の向上が求められている。このことについて以下を問う。</p>

<p>3 民生委員活動におけるデジタル化と担い手確保策について</p>	<p>ア 昼中の防災に対して、地域自主防災組織の重要性は高まっているが、ここ数年、組織化率は伸び悩んでいる。今後の方策について問う。</p> <p>イ 防災施策においても、防災力強化へ向けたDX手法の検討が必要と考える。現状の検討状況を問う。</p> <p>ウ 避難所に係る災害時応援協定の締結数の現状と今後の見通しはどうか。また、発災時における避難所の利用方法についての、事前トレーニングの必要性等について問う。</p> <p>(1) 社会変化の激化により、民生委員の活躍の必要性は高まっている。コロナ禍においては見守りの必要性が高まったこともあり、デジタル化などの新しいコミュニケーション手法の確立が求められている。加えて、民生委員の業務は多忙を極めるが、以下の2点について改善はできないのか。</p> <p>ア 民生委員と様々な所管部署との連携手法について</p> <p>イ 会議のオンライン開催について</p> <p>(2) 民生委員の高齢化が進む中、担い手を確保する必要がある。現在、担い手確保についてどのような手法を用いているのか。</p>
-------------------------------------	--

質問事項	要 旨
<p>1 都市計画道路3・4・8号線（以下美田駒木線）の、柏市側の延伸と道路の安全対策について</p>	<p>(1) 大堀川沿いに柏市と流山市を結ぶ道路の拡張と延伸が計画されている美田駒木線について、現在柏市側の延伸が滞っている状況にあり、流山市側は本来1本道で繋がる予定であったが、柏市側の道路工事が完成するまで、流山市側の街区迂回路を使用せざるを得ない状況になっている。この迂回路は直角に3回、鋭角に1回曲がる必要があり、そのうち狭隘道路を1本含むため、当該迂回路の通行における危険性が高く、近隣住民から問題視、危険視する声が多く上がっている。そこで以下2点問う。</p> <p>ア 美田駒木線は流山市と柏市の行政境に未整備の箇所があり、また迂回路が危険な現状にあるが、市はこの現状を把握し、この迂回路の危険性を認識しているか。また、住民からの意見は聞かれているか。</p> <p>イ 当該道路の柏市区域内の整備について、柏市との協議は行っているのか。行っている場合、現状はどうなっているか。</p>
<p>2 空き家対策と管理不全空き家の対応について</p>	<p>(1) 少子高齢化の進展により、増加した空き家の適正管理や発生の抑制対策及び空き家の利活用が課題となっている。令和4年12月に公表された流山市空家等対策計画でも、本市における空き家の増加も課題として言及されている事を踏まえ、以下について問う。</p> <p>ア 現在、流山市における空き家に対する相談などは、年間何件寄せられているか。また、その内容はどのようなものが多いか。</p> <p>イ 現在は空き家でなくとも、高齢独居もしくは高齢夫婦世帯など、将来的に空き家になる可能性がある世帯に対して空き家対策のための啓発活動は行っているか。</p> <p>ウ 管理不全空き家について、ゴミや植栽の伐採などの対応を行う場合に、持ち主不明のため対応ができないという事例はあるのか。もしくは所有者はわかっているが、対応してもらえない事例はあるのか。その場合、市ではどのような対策ができるのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 南流山中学校移転に伴う諸課題について</p>	<p>(1) 南流山中学校移転に伴い、令和6年4月から同中学校へ自転車通学をする生徒数は約500人と予想され、南流山小、南流山第二小、鱈ヶ崎小に通学する児童と一部共通する通学路が存在することや、道が狭くなっていて危険な箇所があることから登下校の安全性について保護者から不安の声が多数上がっている。そこで通学路の交通安全対策について以下5点を問う。</p> <p>ア 令和4年度までに実施した対策は何か。</p> <p>イ 今年度の通学路合同点検では移転に係る点検を実施したか。</p> <p>ウ 南流山小、南流山第二小の通学路である木交差点の歩道橋は老朽化や安全性の観点から通学路として使用しないことを検討しているため、自転車通学の中学生と徒歩の小学生が多数、横断歩道を渡ることになる。そのため県道でも対策が必要と考えるが県との連携や働きかけは実施しているのか。</p> <p>エ 自転車は道路交通法上は「軽車両」となり、13歳以上の生徒は原則車道を通行する必要がある。自転車交通量の増加等の理由により、生徒が歩道を自転車で走行する可能性が想定されるが小・中学生へ登下校における安全指導はどのように行っていくのか。</p> <p>オ 中学校移転後に想定される自転車交通量の増加等の交通状況の変化について、住民等からの理解を得るために、市や教育委員会はホームページ等で情報を発信し、理解を得られる活動をすべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 自転車通学許可範囲は「学校から直線距離概ね1.7km以上」とホームページに掲載されているが、許可範囲に該当するか微妙なラインの家庭は、範囲内かどうかをどう判断すれば良いのか。また、自転車通学を任意で選択できる区域はあるのか。</p> <p>(3) 移転後は事前に想定していないような問題が出てくる可能性もあり、必要に応じて見守り強化等の対策をしていくべきであると考え。警察の巡回、地域の見守り活動、市が委託している交通安全指導業務など実施してはどうか。</p>

<p>2 保育園の入所・転園申請のDX化について</p>	<p>(1) 保育園の入所申込書類は現在、紙での提出の場合は約14枚印刷して書き込まなければならない。さらに本市においては、令和3年から電子申請が導入されたが、設問数が300問あり、また、申請後の修正は電子ではできず、紙での提出が必要であるなど、小さい子がいる育児世帯にとっては負担である。そこで流山市での入園・転園申込について、市民と市職員の双方にメリットがあるDX化をすることについて、以下2点を問う。</p> <p>ア 保育所入所電子申請の利用率は何%か。多い設問数を最低限に減らすことで保育所入所電子申請の利用率が上がると考えるがどうか。</p> <p>イ 足立区では入力数を減らし、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を取り入れたことにより、オンラインの利用率が高くなっており、かつ職員の作業を577時間も削減できている。足立区の事例を研究し、本市でも取り入れてみてはどうか。</p> <p>(2) 転園申込みについて、流山市では入所申込みと同様の書類約14枚を提出しなければならない、私自身も2人分約25枚を2時間以上書いた経験がある。簡略化すべき観点から、以下2点を問う。</p> <p>ア 荒川区・杉並区・市川市等は保育園転園申込書という書類があり、それに就労状況などを添付するだけの入所時より簡易的な書類を採用している。他自治体の事例を参考に改善すべきと考えるがどうか。</p> <p>イ 予防接種記録などは追記していく形式にできないのか。</p>
------------------------------	--

質問事項	要 旨
1 市長の政治姿勢について	<p>(1) 国内総生産（GDP）比1%程度で推移してきた防衛予算について、関連予算を含めて2%に倍増させ、軍拡財源を確保するための法令等、準備が進められている。そのしわ寄せとして増税や福祉・教育予算の削減、ひいては地方自治体の運営に欠かせない財源の削減も強く懸念される。市長の見解を問う。</p>
2 マイナンバーカードについて	<p>(1) マイナンバーカードの取得は義務なのか。 (2) 連日マイナンバーカードに関するトラブルの報道が後を絶たないが、市当局はどう認識し、どう対処するのか。 (3) カードの作成を後悔する市民の声があるが、キャンセルすることは可能か。また、キャンセルする場合はどんな手続きが必要なのか。 (4) 健康保険証の廃止とマイナンバーカードの一体化について問う。</p>
3 環境行政について	<p>(1) 流山北小学校の一部教室の断熱改修や、ワークショップの開催へのクラウドファンディングの取り組みについて問う。 (2) 粗大ごみ収集運搬業務委託について、委託事業者から契約解除する旨の委託業務途中解約願書が提出されたことから、委託事業者の変更を余儀なくされたことについて、以下2点問う。 ア 市が委託している粗大ごみ収集運搬業務をめぐって、令和3年度、ごみ処理券を購入しない粗大ごみが混入される事案が発覚した。その後、市議会の間や市民団体から、事業者の業務の法令違反への疑義等、具体的にどのような指摘がされていると市は認識しているのか。あつてはならないごみの混入の発覚後、市が許可している一般廃棄物収集運搬業や粗大ゴミ収集運搬業務委託に対し、どのような改善を市は図ってきたのか。また委託業者を変更する事態を受け、今後どのような課題があると認識しているのか。 イ 現場労働者やその家族の生活を守る取り組みについて、市としても可能な範囲で関与するべきではないか。</p>

<p>4 地域経済対策について</p>	<p>(1) 消費税法における適格請求書等保存方式、いわゆるインボイス制度について、市内事業者でも周知の不十分さがいまだに指摘されているなか、今年10月から制度導入がされる。大きな支障が懸念されることから、市としての対応を問う。</p>
<p>5 中部地域のまちづくりについて</p>	<p>(1) おおたかの森北地区を走る都市軸道路の4つの交差点について、右折信号の早期設置を提案・要請し、一部は今年度実施されるとのことである。市としての現状把握と今後の対応について問う。</p> <p>(2) 本市の都市計画道路美田駒木線と柏市道とのスムーズな接続に向けて、丁寧な地権者合意を図りつつ、安全対策など柏市道の整備や駒木自治会での説明会開催など、連絡調整を密に図る必要があると捉えているがどうか。</p>

質問事項	要 旨
1 災害対策について	<p>(1) 台風2号における市内の被害状況と対策、課題について問う。</p> <p>(2) 大きな災害発生時に、避難所となる小中学校体育館について、空調機器が順次整備されている。その効果について、担当部局は学校現場から聞き取りをしているのか。また、教室に設置済みの空調機器を含め、停電時でも使用可能とするために、燃料を含め自家発電設備等の確保についてどのように考えているのか。</p>
2 市民生活の向上について	<p>(1) 長期化する物価高騰や電気料金の値上げは、市民生活に深刻な影響を広がっている。そこで市民生活向上に向けた施策について問う。</p> <p>ア 6月から電気料金が値上げされ不安の声が届いている。また、政府がガソリン代の補助金を6月から段階的に縮小し9月末までには終了すると発表されたことから、ガソリン代の値上げで市民負担増が強く懸念される。市民生活への支援を国に求めるべきと考えるが、どうか。</p> <p>イ 2022年度に実施した物価高騰対策の施策を、本年度も復活・拡充すべきと考えるが、どうか。</p> <p>ウ 水道の利用料金の引き下げ、学校給食無償化制度の拡充、補聴器や自転車のヘルメット着用推進への補助制度について問う。</p>
3 市長の政治姿勢について	<p>(1) 6期目の市政をめざした井崎市長のマニフェストにある5つの基本政策について具体策を問う。</p> <p>(2) 医療行政について</p> <p>ア マニフェストに掲げた「だれもが安心して暮らせるまちへ。医療・福祉をさらに充実させる」ために、どのような具体化を図るのかを問う。</p> <p>イ マニフェストに掲げた「東部地域に地域医療の中核となる総合病院の立地を促進」について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 市長の政治姿勢について	<p>(1) 今定例会の一般報告で、パートナーシップ制度導入の検討をスタートさせることになったが、市長の基本的見解を問う。</p>
2 教育行政について	<p>(1) 老朽校舎整備計画について問う。 ア 流山市学校施設の個別施設計画について、計画発表から長期間経過していることから計画の更新を図るべきではないか。 イ 江戸川台小学校のリニューアル工事の内容について ウ 新川小学校及び北部中学校の老朽化対策について</p> <p>(2) 新川小学校の周辺環境の整備について問う。</p> <p>(3) 市内中学校の吹奏楽部において「楽器が壊れて音が出ないことから高額な金額で保護者に楽器を買わせている」という声が市民から寄せられている。何十万円もの高額な楽器を個人負担で購入させることについて、市教育委員会はどうか。</p>
3 市民の生活移動の足の確保策について	<p>(1) 運転免許返納者への支援策について問う。 (2) 買い物弱者対策について問う。 (3) 運賃改定に伴うパブリックコメントを含めたぐりーんバスの今後の在り方について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 感染症対策について</p>	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症について、5月8日に新型コロナウイルスが季節性インフルエンザと同じ感染法上の「5類」に移行された。第9波も予想される中、今後の感染拡大にどう対応するのか。</p> <p>ア 5類になって国・県・市の施策はどう変わったのか。市民の経済的負担はどのように増えているのか。</p> <p>イ 現在感染が拡大していると言われていたが、市内の感染状況をどのように把握しているか。</p> <p>ウ 本市のホームページでは、5月8日以降「医療提供体制は、基本的に他の一般的な感染症と同様になります」と、どこでも診てもらえるような表現となっているが、発熱患者を検査・診療する外来体制、入院医療・救急体制は拡充されているのか。</p> <p>エ 高齢者施設の入所者を感染・重症化から守る対策の抜本的強化をどう図るのか。</p> <p>オ 国・県に公費負担の継続を求めるべきではないか。</p> <p>(2) 季節性インフルエンザやRSウイルスなど、その他の感染症も拡大してきていることから、対策を強化すべきと思うが、どうか。</p>
<p>2 子育て支援策について</p>	<p>(1) 乳幼児を育てる父母との対話の中で「子育てが孤独だ」、「子育てで行き詰まったときにSOSを出せるところが欲しい」という声を多く聞いた。このような要望に対するサポートの現状と課題について問う。</p> <p>ア 「子育てなんでも相談室」が市内5か所にあるが、その体制はどのようなものか。相談件数はどのくらいあるか。訪問はどの程度行っているのか。また、課題は何か。</p> <p>イ 保育園が「地域子育て支援センター」を行っているが、現在、何園か。利用者はどのくらいいるのか。また、課題は何か。</p> <p>ウ 「ファミリーサポート」は5月末現在の登録数が利用会員1,695名、提供会員478名、両方会員188名の合計2,361名とのことだが希望者に対してサービスは充足しているのか。また課題は何か。</p> <p>エ 各種支援策の希望者への案内はどのようにされているのか。また、課題は何か。</p>

<p>3 南部地域のまちづくりについて</p>	<p>(1) 平和台1丁目に建設予定のデータセンターについて</p> <p>ア 現在、まちづくり条例に基づく大規模開発行為の手続きはどこまで進んでいるか。開発事業者と周辺住民との話し合いはどうなっているか。</p> <p>イ 今年5月、地域住民から千葉地方裁判所に行政訴訟が起こされたと聞いているが、現在の状況はどうなっているか。</p> <p>(2) 新三郷流山橋有料道路周辺の住環境問題について</p> <p>ア 中央消防署から茂侶神社への道路の付け替え工事が実施される中、三輪野山5丁目の住民より住環境を守るための要望が出されている。市はどのように対応しているか。</p> <p>イ 三輪野山1丁目地域は、この間、三輪野山治水対策が進められてきたが、6月2日の大雨で道路冠水が発生した。今後どのような対策を図るのか。</p> <p>ウ 新三郷流山橋有料道路が今秋開通することを踏まえ、茂侶神社から三輪野山5丁目などの安全対策について</p> <p>(3) 南流山中学校の移転に伴う諸課題について</p> <p>ア 南流山中学校の移転開校まで9か月となった。進捗状況と課題について問う。</p> <p>イ 南流山駅入口交差点を自転車・徒歩で通学する生徒が増えることになるが、歩道橋の撤去及びその後の安全対策について</p>
-------------------------	---

質問事項	要 旨
<p>1 本市の大雨等の被害と対策について</p>	<p>(1) 6月2日の夕方から深夜にかけて降った大雨の影響で市内にも多数の被害があった。行政に対応を求める前に、自助、共助の考え方が重要であり、自分達で出来る事は個人や自治会等でやった上で公助が必要なところには行政に協力を頂くことが重要と考え、以下3点について問う。</p> <p>ア 今回の大雨による被害状況について、市内ではどのような被害があったか。</p> <p>イ 東深井地域では諏訪下川周辺で道路冠水があった。どのような原因が考えられ、どの様に対策をしていくのか。</p> <p>ウ 駒木台、青田地域では、雨あしの強さが最初のピークを迎えた6月2日16時頃から24時間経過した段階でも道路冠水が残っていた。過去の例では雨が弱まって来ると道路冠水が解消される事が多かったが、今回は長く水が残っていた。どのような課題や解決策が考えられるか。</p>
<p>2 流山市総合運動公園野球場観覧席について</p>	<p>(1) 多くの市民からの寄付やふるさと納税等で協力頂いた基金を財源の一部として観覧席が完成し、供用が開始された。計画通りに工事、供用が開始されたことに感謝をしている。利用開始から3カ月近くが経過した現在、利用者や利用団体からはどのような声があがっているのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 新型コロナウイルスワクチンの健康被害について</p>	<p>(1) 国は新型コロナウイルス感染症予防として、メッセンジャータイプのワクチン接種を進めてきた。このワクチンは接種開始当初から大きな問題を抱えていると考える。人類初めての遺伝子ワクチンであるにもかかわらず、治験が終わっていないため、その効果も中長期的な安全性も十分に確認されていない。その結果、ワクチン接種後に様々な健康被害が報告されている。厚生労働省によると、ワクチン接種後の死亡事例が2,057名となっており、更には重篤な後遺症で苦しんでいる方が数万人いるとも言われている。以上を踏まえ以下4点問う。</p> <p>ア 流山市内でもワクチン接種後の死亡事例は発生しているか。</p> <p>イ その他重篤な後遺症で苦しんでいる方の人数は把握されているか。</p> <p>ウ 死亡や重篤な症状の事例があった場合、市はどのように対応しているか。</p> <p>エ 新型コロナウイルスワクチンについて今後も5回目までと同様、積極的に接種を推奨していくのか。</p>
<p>2 LGBT法案に関して</p>	<p>(1) 今国会でLGBT法案が成立されたが、世界各国の例みると法律を逆手に取った性犯罪が発生している。日本でも同様の事件が発生する可能性があり、現に先日、三重県の入浴施設にある女性用浴場に女装した男性が侵入して逮捕された事件が発生した。勿論LGBTの方に対して差別してはいけないということが前提であるが、行きすぎた法案自体が、犯罪を助長し、LGBTの方が生きづらくなりかねないと考える。以上を踏まえ、LGBT法案についての市の見解を問う。</p>

<p>3 運河大橋付近の流山 街道渋滞緩和について</p>	<p>(1) 運河大橋北側の市道118号線（通称、流山街道）の渋滞がひどく、住民の方から問い合わせが多く寄せられている。右折レーンがないことにより、右折待ち車両が複数台連なることが渋滞の原因で、これまでも議会で取り上げられていたものとするが、その後の進捗を問う。</p>
-----------------------------------	---

質問事項	要 旨
<p>1 自転車駐車場について</p>	<p>(1) 流山おおたかの森駅周辺では、人口急増に伴い自転車駐輪場が不足している。この課題は、都市建設常任委員会や予算審査特別委員会、市政に関する一般質問等で多くの議員が取り上げてきたが、本市として将来を見据えて、どのように対応していくのか。以下3点について問う。</p> <p>ア 流山おおたかの森駅周辺の公営や民営の自転車駐車場の混雑状況や料金、利便性を踏まえて現状をどのように捉えているのか。</p> <p>イ つくばエクスプレス高架下の自転車駐車場の立体的な活用も考えていくべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 多くの自転車駐車場が民地を借用している。その民地の相続が発生した場合等には、土地の返還を迫られてしまうことを想定し、早い段階から対策を講じる必要があると考えるが、当局の見解を問う。</p> <p>(2) ハイテク化された自転車駐車場が全国的に普及してきている。中でも地下を有効活用しているものや、一部ガラス張りにし、夜間にライトアップを施すことで、収納自転車や機械装置の動きを魅せる駐車場を、まちのランドマーク的な存在として機能させている自転車駐車場も増えてきている。本市のまちづくりやマーケティングの観点も含め当局の見解を問う。</p>
<p>2 駅周辺のまちづくりについて</p>	<p>(1) 江戸川台駅東口周辺地区再整備事業が進んでいるが、以下3点について問う。</p> <p>ア 旧ジェットロ跡地の活用は、どのように進めていくのか。</p> <p>イ 江戸川台東口駅前ロータリーは、どのように改修していく考えなのか。</p> <p>ウ 地権者のみならず、近隣住民等へも情報の共有が必要と考えるがどうか。</p>

<p>3 高齢者の移動手段充 実について</p>	<p>(2) 流山おおたかの森駅前ロータリーにおける車両の駐停車 について以下2点を問う。</p> <p>ア 流山おおたかの森駅の東口、及び西口ロータリーでは、 送迎車の駐停車で混雑している。停車スペースを増やして いく必要があると考えるが当局の見解を問う。</p> <p>イ 配送用のトラックも駅前ロータリーに停車して配達が行 われている。駅の機能に鑑みて、トラック用の駐車スペ ースを作る必要があると考えるが当局の見解を問う。</p> <p>(1) 公共交通が整っていない地域やバスの減便により、外出 がままならない地域に住む方の移動手段をどのように考 えていくのか。</p> <p>(2) 子ども二人乗せ電動アシスト自転車購入費について助成 している自治体もあるが、坂の多い場所にも住宅地がある 本市では、免許証を返納する高齢者も増えている中、高齢 者に対して移動手段の大きな助けとなる電動アシスト自 転車の購入に対して助成を検討するべきと考えるがどう か。</p>
------------------------------	--

質問事項	要 旨
<p>1 流山市における農地の保持と有機農業の促進対策について</p>	<p>(1) 人口の流入や開発等に伴い流山市の農家が減少しているが、今後の食糧難の可能性を考えると、流山市の農家は市にとって大変貴重な存在であると考えます。そこで、以下を問う。</p> <p>ア 農家を続けたい意思があるのに開発等により移転を余儀なくされた場合、市の農地が縮小してしまうことがないよう適切な移転先を探す仕組みはあるか。</p> <p>イ 若者をはじめ市民に農業に興味を持ってもらえるよう、イベントや教育に農業を組み込むなど、促進する仕組みはあるか。また、今後の農業促進に関してどのように計画しているか。</p> <p>ウ オーガニック農業に興味ある市民を募集して、安く土地を貸し出すなどの施策は考えられるか。</p>
<p>2 子どもや若者の、マスク着用で根付いた自己肯定感低下の問題と熱中症のリスクについて</p>	<p>(1) 先月、学校で子ども達がマスクを外したくても外せない状況を避けるため、千葉県教育委員会が、「教職員が率先してマスクを外して指導すること」などを盛り込んだ通知を各市町村教育委員会などに提出した。更に千葉県知事は今年5月25日の定例記者会見で「同調圧力や惰性で着用が続かないような環境作りが必要である」と述べた。しかし、「3年間も学校でマスク生活が続き、マスクを外そうとすると、周りから顔に自信があるのかと言われてマスクを外すことが出来なくなった」、とか「マスクで表情を隠せるので楽」、「透明人間になれるので着用し続けていたい」という、もはや感染症予防とは違った趣旨でマスク着用を続けたいという声がある。しかし、こういった自己肯定感の低下を誘発する理由でのマスク着用は、社会に出た時に重要となるコミュニケーション能力の発達に極めて深刻な悪影響を及ぼしかねないと考えられる。そこで以下を問う。</p> <p>ア 流山市としては、この問題をどのように解決できると考えるか。</p> <p>イ 容姿に絡めてマスクを外させない同調圧力をいじめとして取り扱うことはできるか。</p> <p>(2) これから夏になり、毎年死亡事例もある熱中症が危険な時期になる。真夏にマスクをつけることが熱中症のリスクを上げる要因でもあるが、市としては昨年6月に熱中症が過去最多だった事も踏まえ、高気温下においてもマスクを外そうとしない児童・生徒がいる場合の教育現場において、どのような改善策を考えているか。</p>

<p>3 コロナワクチン接種券の取り扱いについて</p>	<p>(1) 厚生労働省がホームページで公開しているワクチン分科会副反応検討部会の資料によると、令和5年3月12日現在「コロナワクチン接種後に死亡」として公表されている死亡者が2057名、その中には1歳などの乳幼児も含まれる。また、今まで若者に殆ど見受けられなかった心筋炎も600件を超えていて、もはや「稀なケースである」で押し切るのには厳しい状況であると考え。ワクチン接種は個人の自由とはいえ、メリットだけが声高に宣伝され、リスクや死亡事例が十分に周知されていないのは、判断材料の提供としてフェアではない。このことに関し、自治体レベルで慎重になる必要があると考え、以下の3点を問う。</p> <p>ア 市民のワクチン総接種回数が、市のノルマとして事実上課せられているような現状はあるのか。</p> <p>イ 流山市民にワクチン接種の案内を提供する際、厚生労働省が公表しているワクチン分科会の資料、つまり副反応の事例とその件数などの状況も同封するよう検討できないか。</p> <p>ウ 免疫反応が高い20歳以下の若者や子どもに関しては、ワクチン接種券を一律送付ではなく、希望があった場合にのみ提供する形にするよう検討できないか。</p>
<p>4 流山市における少年消防クラブの導入について</p>	<p>(1) 流山市は人口増加が続く中で「住み続けたい街」を目指しており、子どもの頃から防火に対する意識を身に付けることにより、火災を予防し、地域や各家庭の安心安全に寄与すると考えられる。松戸市には少年消防クラブがあるが、本市においても少年消防クラブを取り入れるべきと思うがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 成年後見制度利用促進について</p>	<p>(1) 流山市において、いよいよ成年後見制度利用促進基本計画案が策定中であると仄聞する。この計画策定にあたっては、国は、連携ネットワーク及び中核機関が担うべき具体的な機能として①広報機能、②相談機能、③成年後見制度利用促進機能、④後見人支援機能、⑤不正防止効果を挙げている。今回は、③成年後見制度利用促進機能について以下に問う。</p> <p>ア 流山市は、受任者調整会議をいつ、どのようなメンバーで構成する計画か。</p> <p>イ 市民後見人養成において、人材確保の目標値、具体的な活用策、スケジュールを記載すべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 日常生活自立支援事業について、令和2年第1回定例会の市政に関する一般質問では、「利用者の増加が十分には図られていないことが課題と捉えています」という答弁であった。2年経過した今、どのように改善されているのか。</p> <p>エ 成年後見制度、日常生活自立支援事業二つの制度はともに、高齢者だけでなく、若い世代の理解が必要と考えるが、若い世代を対象とした周知はどのように行われているのか。</p> <p>オ 地域連携ネットワーク会議の議事録はホームページに掲載すべきと考えるがどうか。</p> <p>カ 成年後見推進センターのマンパワーが足りないと思うが、どうか。</p>
<p>2 敬老バス「さつき号」について</p>	<p>(1) 本市の敬老バス「さつき号」は昭和50年から高齢者の方々に愛され、48年もの間、市の敬老事業として継続されてきた。コロナウイルス感染症が収束に向かい、これからの本格的な利用に向けて、以下の4点について問う。</p> <p>ア アンケート調査の結果が公表されているが、どのような要望が多いか。</p> <p>イ 今後、改善点があるとしたらどのように改善すべきと認識しているのか。</p> <p>ウ 行程表の作成が難しいとの声が市民から聞かれるが、ホームページ上のサンプルを増やし、印刷冊子でコピーして活用できるようにしたらどうか。</p> <p>エ 車内に設置のモニターの活用について、周知すべきと考えるがどうか。</p>

